

米づくり情報 第4号

令和6年7月23日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(7月23日)

移植日	項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
6月18日	夢しずく	本年	65.6	335	10.5	40.7	[気象] 7月16日~22日まで ◆平均気温…平年より1.8℃高い ◆日照時間…長い(平年比126%) ◆降水量…少ない(平年比20%) [生育] ◆草丈 全ての品種で高い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」で少なく、「ヒヨクモチ」でやや多い。 ◆葉齢 「夢しずく」「さがびより」「ヒヨクモチ」で平年並み、「ヒノヒカリ」はやや多い。 ◆葉色 「夢しずく」はやや濃い、「ヒノヒカリ」は濃い、「さがびより」「ヒヨクモチ」で平年並み。
		平年	59.4	410	10.4	39.1	
		平年比(差)	110	82	+0.1	+1.6	
	ヒノヒカリ	本年	60.2	480	10.8	43.7	
平年		53.7	560	10.5	41.1		
平年比(差)		112	86	+0.3	+2.6		
6月20日	さがびより	本年	57.2	418	10.3	41.6	
		平年	49.7	502	10.4	41.2	
		平年比(差)	115	83	-0.1	+0.4	
	ヒヨクモチ	本年	52.1	842	10.9	43.2	
平年		47.7	816	11.0	42.9		
平年比(差)		109	103	-0.1	+0.3		
留意点	○ 7月17日以降晴天が続く、日照時間が長くなったものの、草丈は各品種とも伸長(15cm程度)した。「夢しずく」で分けつが発生が鈍化したが、「ヒヨクモチ」は二次分けつが発生が盛んで、平年並みの茎数が確保されている。 ○ 「夢しずく」の中干しは、茎数が少ない圃場が多いと思われるため、極端に強い中干しとはせず、幼穂形成期(農試平年7/28)までに中干しを終える。 ○ 有効茎が確保された「ヒノヒカリ」「さがびより」「ヒヨクモチ」等の中晩生品種は、速やかに中干しを実施する。						

注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/24、播種量 湿粳 180g/箱)
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/27 播種量 湿粳 180g/箱)

2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m²(65株/坪)
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m²(55株/坪)
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m²(73株/坪)

3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。
 低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、
 やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106以上。

5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く年次の過去データから算出した7月24日の数値を記載。

【窒素の時期別施用量(Nkg/10a)】

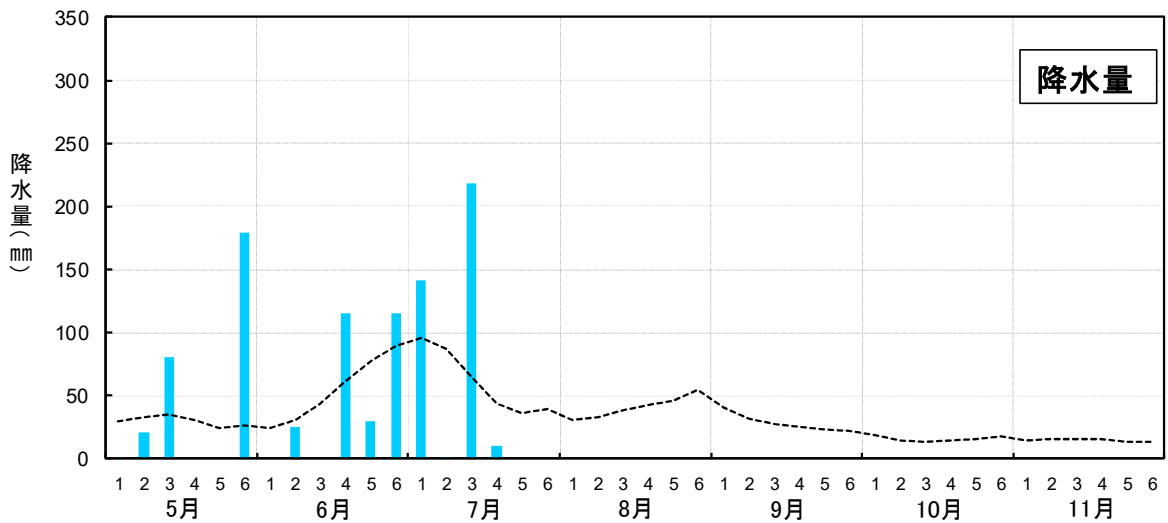
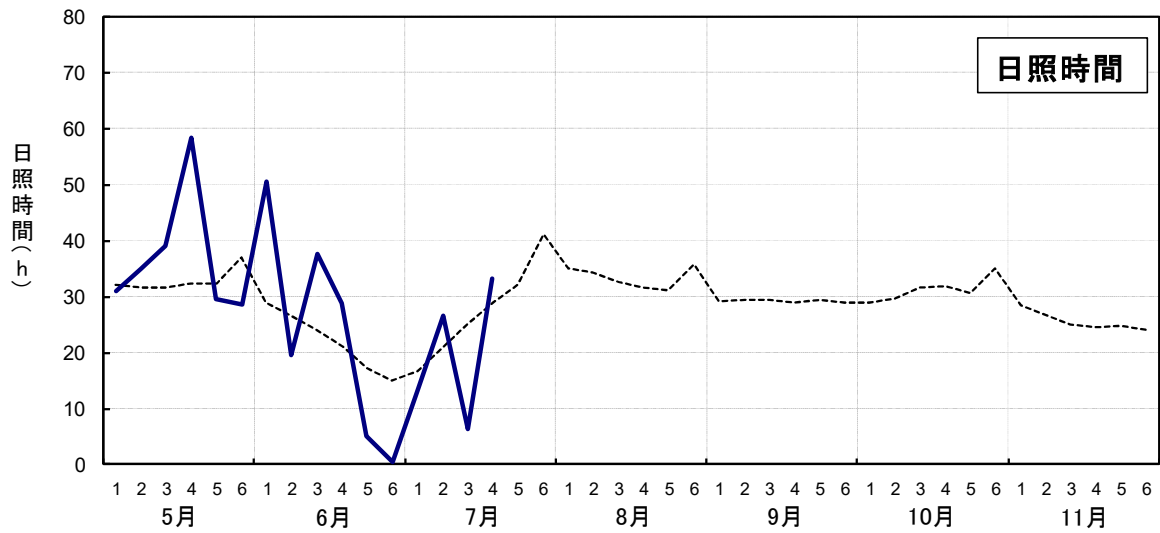
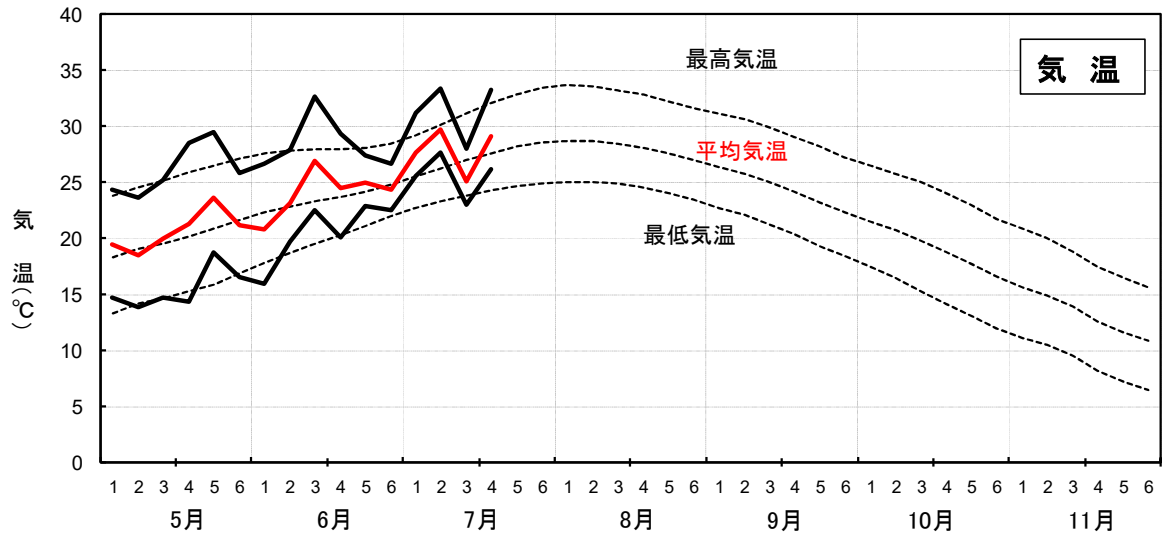
品種	基肥	中追	穂肥I	穂肥II	実肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/9)	3.0	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7/12)	4.0	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

令和6年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当



●病害虫に関する情報は以下のリンク(農業技術防除センター病害虫防除部)よりご確認ください。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>